

# 運営推進会議議事録

にこにこリハビリデイサービス

開催日：平成 30 年 6 月 13 日（水曜日）

開催時間：午前 13 時～13 時 30 分

開催場所：にこにこリハビリデイサービス

参加者：越谷市地域包括支援センター 川柳・大相模 代表者様

近隣自治会長様

にこにこリハビリデイサービス 長屋秀吾

## 検討内容

- ① 当事業所の運営について（実績）
- ② 当事業所の今後の課題と予定について
- ③ 施設へのご意見、ご要望について

## 検討内容①当事業所の運営について

事故等の発生：

- ・車椅子転倒事故 別紙参照にてお願いいたします。
- ・送迎時心肺停止 別紙参照にてお願いいたします。

上記は越谷市役所介護保険課宛、事故報告書提出済です。

人員配置：施設基準 人員基準 生活相談員 1 名 ヘルパー 1 名 管理者 1 名（機能訓練指導員との兼務可）

### 現状の人員配置

生活相談員 1 名 ヘルパー 2 名 送迎ドライバー 1 名（2 名の曜日も有） 管理者 1 名（機能訓練指導員との兼務） /1 日にて対応中。

※平成 30 年 1 月 15 日 オープニングスタッフ 2 名退職

平成 30 年 2 月 1 日 新たに 1 名入職（非常勤、介護福祉士）

平成 30 年 3 月 1 日 新たに 1 名入職（常勤、介護福祉士）

## 利用者情報：

現在登録者数：41 名 昨年秋頃から人数の変化はほぼなし（ご利用者様の入れ替わりは有）

登録状況（定員は 10 名）

|    | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 午前 | 10  | 10  | 10  | 10  | 10  |
| 午後 | 10  | 10  | 9   | 10  | 10  |

※平成 30 年 6 月 12 日現在

※ご利用予定・入院中の

利用者様含む（退院後通所予定）

## 平成 30 年 4 月の介護保険法改訂に伴う変更点

### ①利用時間が 2 時間刻み⇒ 1 時間刻みに変更

|             |        |        |   |        |        |        |
|-------------|--------|--------|---|--------|--------|--------|
| 要介護 1 の方の場合 | 3～5 時間 | 426 単位 | ⇒ | 3～4 時間 | 407 単位 | －19 単位 |
| 要介護 5 の方の場合 | 3～5 時間 | 678 単位 | ⇒ | 3～4 時間 | 647 単位 | －31 単位 |
| 平均          |        |        |   |        |        | －25 単位 |

半日ご利用の方 14 人/1 日 ⇒ 14 人×25 単位×21 日 ⇒ 約 75000 円の減収

### 利用者別担当居宅介護支援事業所：

包括支援センター川柳・大相模：2 名 包括支援センター増林：1 名 こしがや社協：8 名  
にじ：5 名 あおぞら介護サービス：5 名 なごみの郷：4 名 ジャパンケア北越谷：2 名  
ハーモニー：1 名 応援プラン：2 名 まるみ：1 名 かがやき：1 名 徳風：1 名  
新越谷病院居宅介護支援事業所：1 名 ふくふく：1 名 げんき：3 名 はれ：1 名

### デイサービスでの活動状況

- ・リハビリ（個別リハ、マシン等の自主リハ、トランプ・折り紙・計算等の脳トレ）
- ・入浴
- ・アロマセラピー（余暇、リラクゼーション、認知症予防・・・）職員の移動に伴い、平成 30 年 1 月に中止。4 月より再開。
- ・集団リハビリ 4 月より 15 時 30 分～集団でのリハビリテーションを開始。活動量の改善を図っています。
- ・活動（製作物、演奏会等） ※活動のご様子は別紙写真にてご確認ください。

### 職員の教育：

- ・月に一度始業前に勉強会を開催中。  
緊急対応、クレーム対応等

### 検討内容②当事業所の今後の課題

#### 今後の課題：

身体介護、健康管理：緊急時の対応を徹底すること（書類の整理、フローチャートの周知等）

リハビリ：リハビリデイサービスのわりに活動量が少ない印象あり。開設後約 2 年が経過。オープン当初からご利用なさっている方の身体機能の低下あり。集団体操等による活動量の改善を図る。また、その他、立ち上がり練習等にてある程度強制的な運動の実施を検討中（はじめのあいさつと帰宅前には定期的に皆さんで立ち上がり練習を行う等の方法）。

楽しみ：定期的な行事の検討、実施

職員の確保：現在職員は充足中。働きやすい職場づくりを目指します。（定期的な面談をおこなっています）

利益の確保：定員自体は一定の割合を確保できているものの現状収支はややマイナス。要因は登録者様の休みと介護保険法改訂に伴う減収。今後の課題としては、休む方を減らす方法の検討、常に定員一杯に近い状態を維持する工夫が必要。

### 検討内容③施設へのご意見、ご要望について

地域包括支援センター 代表者様より

- ・高齢者施設において予期せぬ事態はつきものです。緊急時の対応については、勉強会等にて継続して職員全員で学んでください。

近隣自治会会長様

- ・近隣のお寺や川などで定期的に催しがあるので、それらにご利用様をお連れして楽しんでもらってください。
- ・事業所が開設して2年経過して、やっと地域に根差してきた印象があります。今後も継続して地域に良いサービスが提供できるように努力してください。

### 活動の様子



12月 ホットケーキづくり



2月 チョコレートフォンデュづくり



2月 昼食にて麺類を提供

※その後通常のお弁当と麺類を選択できるようにしました。



4月 アロマテラピー再開